

令和元年度 事業報告

令和元年度の県内の人口は107万2千人で、そのうち65歳以上の人口は34万3千人、32.0%を占めています。10年後の2030年度の推計では、人口は97万6千人となり、65歳以上の人口は35万4千人、率にして4.3%多い36.3%と少子高齢化が急速に進行するとされています。

そのような中で、現役引退後も就業意欲が高く、豊富な知識や技能、経験を持つ高齢者にそのライフスタイルに合わせた「臨時的かつ短期的又はその他の軽易な業務」を提供するとともに、ボランティア活動をはじめとするさまざまな社会参加を通して、高齢者の生きがいの充実や健康増進を図るシルバー人材センター（以下「センター」という。）は、地域社会に貢献する公共性・公益性の高い団体として、その役割はますます大きくなっています。

その役割を果たすためには、会員の拡大は必要不可欠であることから、国の委託事業を活用して、センターの積極的な周知・広報や人手不足分野、現役世代を支える分野での就業に必要な就業体験や技能講習を実施しました。

また、各センターにおいても、入会説明会の拡充やイベント等による会員拡大の取り組み等を積極的に行いました。

その結果、会員数につきましては、前年と比較して68名の増加となりました。

しかしながら、会員数と同じ主要指標である就業延人員、契約金額は前年度を下回っており、年度末に発生した新型コロナウイルス感染症拡大の影響はあったものの、連合会とセンターが一体となって、増加に向けた取り組みを引き続き積極的に行う必要がありました。

【過去5年間の主要指数の推移】

項目	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	
会員数 人	5,819	5,852	5,773	5,525	5,593	
就業率 %	請負	87.1	84.9	83.2	84.2	82.1
	派遣	63.8	61.8	61.4	60.5	62.1
就業延人員 人日	581,555	583,639	575,452	558,238	540,506	
契約金額 百万円	2,973	3,012	2,973	2,960	2,960	

個別の事業実施状況は、次のとおりです。

1 普及啓発事業

広く県民にセンターの理念や事業内容を周知し、シルバー事業への理解と参加を求めるため、機会あるごとに普及啓発活動に取り組みました。

また、8月に全国シルバー人材センター事業協会の総会決議事項と、センター事業運営に関する連合会独自の要望を、宮崎労働局、県選出国會議員及び県に行いました。各センターにおきましても、連合会と連動して、関係市町に対し要望活動を行いました。

(1) 国、県等への要望・要請活動

実施日	要 望 内 容	要 望 先
8月 9日	○令和元年度（公社）全国シルバー人材センター事業 協会定時総会決議	宮崎労働局長
8月19日	・「生涯現役社会」を実現するシルバー人材センターの決意と支援の要望	県選出国會議員
8月26日		県知事・関係部長
8月27日	○シルバー人材センター事業運営に関する要望 (連合会独自) ・シルバー人材センターの活用推進 ・シルバー人材センター事業の運営基盤の確立 ・随意契約による県発注事業の拡大 ・介護予防・日常生活支援総合事業の取組	県議会議長

(2) 「シルバーの日（10月20日）」の普及啓発活動

「シルバー人材センター事業普及啓発促進月間（10月）」において、各センターと連合会で次の普及啓発活動、各種ボランティア活動等を集中的に行ないました。

- ・シルバーフェスタの開催、町民祭などのイベントへの参加
- ・公共施設、福祉施設等での、剪定、除草、清掃等の奉仕作業
- ・促進月間における参加会員延人数 2,935人

(3) 「生き生きシルバー人材センター物産展」の開催

今回で11回目の開催となり、12センターの会員が持ち寄った農産物や果物、手作り工芸品等の販売を行いました。また、「シルバーよろず相談コーナー」を設け、シルバー人材センターの普及啓発活動を行いました。

日 時 令和元年11月9日（土）12時30分から15時30分

場 所 宮崎市若草通アーケード

参加SC 12センターと連合会

宮崎市、都城市、延岡市、日南市、小林市、日向市、西都市、えびの市、国富町、綾町、新富町、川南町、連合会

(4) 広報活動

① 各種広報・啓発資料の作成・配布

名 称	発行時期等	部 数 等
連合会広報誌「連合会シルバーみやざき」(第31号)	令和2年 1月	10,500部
シルバー人材センター事業の概要	9月	800部
宮崎県シルバー人材センター連合会要覧	8月	150部
カレンダー	11月	2,700部 *12センターとの共同印刷
全シ協機関誌 月刊「シルバー人材センター」	毎月 (年12回)	168部(=14部×12月) *普及啓発配布用

② シルバー会員募集広告

- ・ テレビ・ラジオCM放映 5月～8月 10月～2月
- ・ バス広告 1月～3月

(5) SC普及啓発事業等支援

各センターと連合会が協力して行う会員拡大等の取組の一環として、各センターが実施する普及啓発事業等に要する経費の一部を支援しました。

【活用実績】

- ① 普及啓発事業等支援助成金 7センター
- ② イベント支援助成金 3センター

2 就業開拓推進事業

(1) 高齢者活躍人材確保育成事業(国からの受託事業)

高齢者や企業に対して、シルバー人材センターを積極的に周知・広報し、各センターと連携を図りながら、人手不足分野や現役世代を支える分野での就業に必要な就業体験や技能講習を、地域企業のニーズの動向、実施内容及び実施時期等に留意し実施しました。

【令和元年度事業内容】

① 周知・広報

- ア ポスター、パンフレット、募集チラシ等による広報
- イ 関係市町村広報誌等への記事掲載

ウ 新聞、テレビ、ラジオ等の媒体による広報

② 高齢者活躍セミナー（入会説明会）

実施数 6回 参加者数 48人

③ 高齢者対象大会等行事の共催・参加

参加数 7回 個別相談者数 393人

④ 就業体験（職場見学）

実施数 13回 参加者数 53人

内容 剪定体験、清掃体験、そば打ち体験、樹木リサイクル業務体験
みそ加工体験、洗車業務見学、カーフェリー船内清掃見学 等

⑤ 技能講習

実施数 11講習 受講者数 55人

内容 剪定講習、障子・網戸張替講習、ゆびで描くパステルアート講習、
介護送迎運転者講習、清掃講習、調理補助員講習 等

【令和元年度事業実績】

① 本事業による新規会員数 66人

② 新規会員のうち就業者数 41人

③ 就業率（②÷①） 62.1%

(2) 随意契約による発注要請

県・市町村からのセンターへの発注状況を調査し、県への要請活動（8月9日）の際に、センターへの「随意契約による県発注事業の拡大」について要望を行いました。

3 シルバー派遣事業

シルバー事業における適正就業、就労機会の拡大、自主財源の確保等のため、派遣事業への取組を推進した結果、令和元年度は、受注件数、就業延人員、契約金額とも対前年度比10%以上の増加となりました。

一方、働き方改革関連法の施行に伴う年次有給休暇の取得や、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による派遣先の休業に伴う年次有給休暇の取得が増

加したことなどから、派遣会員に支払う有給休暇取得賃金の支払いが300万円を超え、前年度の13.8倍となりました。

令和元年度派遣事業実績 (単位：件、人日、円)

実施事務所	受注件数	就業延人員	契約金額
宮崎市事務所	140	22,234	107,260,720
都城市事務所	52	6,045	27,840,240
延岡市事務所	31	3,792	15,689,170
日南市事務所	10	3,858	19,609,295
小林市事務所	29	6,042	33,236,072
日向市事務所	14	2,207	14,475,655
西都市事務所	4	547	4,061,926
えびの市事務所	14	2,569	13,794,994
三股町事務所	14	3,832	15,516,808
国富町事務所	12	1,652	9,912,262
綾町事務所	18	2,103	16,682,059
新富町事務所	7	731	4,215,878
川南町事務所	12	2,016	9,922,081
計 (対前年度比)	357 (116.7%)	57,628 (113.3%)	292,217,160 (113.9%)

4 安全・適正就業推進事業

「安全がすべてに優先する。」ことを念頭に、会員及び職員の就業中やその途上における事故防止と安全意識の高揚に努めました。

特に、平成30年度に発生した重篤事故2件を教訓に、安全就業の意識の向上を図った結果、令和元年度は重篤事故の発生はありませんでした。

また、令和元年度も、安全・適正就業を推進するため、安全標語を募集するとともに、安全・適正就業研修会を開催しました。

(1) 安全・適正就業研修会

- ・日 時：令和元年7月25日（木）13時～16時25分
- ・場 所：宮崎公立大学交流センター 多目的ホール（宮崎市）
- ・内 容

- ① 安全標語入賞者表彰式（応募総数 279点）
最優秀賞 佐藤 志津子 氏（日向市SC）
「みんなして めざそう無事故の金メダル」
優秀賞 井出 ハツ子 氏（都城市SC）
中村 浅秀 氏（小林市SC）
渡辺 美津子 氏（新富町SC）
- ② 研修会（参加者88名）
講話Ⅰ 「令にして和やか Dr.エトーの健幸長寿7か条」
講師 宮崎県立看護大学 教授 江藤 敏治 氏
講話Ⅱ 「高齢者の交通安全について」
講師 宮崎県警察本部 交通企画課

(2) 安全・適正就業パトロールの実施

「連合会安全就業推進基本計画」に基づき、次のとおり安全・適正就業パトロールを実施しました。

- ・7月期 宮崎市SC、日向市SC、西都市SC、川南町SC
- ・10月期 都城市SC、新富町SC、高鍋町SC

5 有料職業紹介

臨時的かつ短期的又は軽易な業務への就業を希望する高齢者を対象として、公益社団法人13センターと連合会で有料職業紹介事業の登録は行っていますが、実績はありませんでした。

6 高齢者スキルアップ・就職促進事業（国からの受託事業）

55歳以上の就職を希望する高齢者に対して、就職につなげるための職場見学・体験、技能講習、就職面接会等の就職支援・相談を行いました。

【令和元年度内容】

- ① 職場見学・体験（7分野）
実施数 24回 参加者数 95人
内容 はじめての介護体験会、子育て支援見学会、店舗スタッフ見学・体験会、調理スタッフ見学・体験会、清掃スタッフ体験会、フォークリフト運転業務見学会、ラインスタッフ業務見学会

② 技能講習（5分野）

実施数 7講習 受講者数 54人

内 容 はじめての介護講習、店舗スタッフ講習、調理アシスタント講習、清掃スタッフ講習、フォークリフト作業講習

【令和元年度事業実績】

① 技能講習受講者の就職率 55.8%

② 事業満足度（修了後のアンケート）98.1%

7 指導相談事業

国・県・全シ協との連携の下、シルバー事業の適正かつ効果的な推進を図るため、指導・個別相談を行いました。

(1) 連合会による定期個別指導等の実施（11月、2月）

定期指導年間計画に基づき、個別指導を宮崎市、延岡市、串間市、高鍋町、木城町及び門川町の6センターで実施しました。

(2) 宮崎労働局による指導調査（11月、12月）

シルバー人材センター事業の経理事務及び適正就業に係る事務指導が6センター（延岡市、日向市、西都市、えびの市、三股町及び川南町）で実施されました。

この結果、労働者派遣就業に関する改善措置の指導票が4センターに対して交付され、報告期限内に是正を行いました。

(3) 公認会計士等による個別相談（随時）

連合会の会計事務指導と連合会を通じたセンターの個別事案について、顧問公認会計士事務所による相談・指導を実施しました。

8 調査研究事業

働き方改革関連法の施行に伴い、年次有給休暇の取得義務化や同一労働同一賃金の導入に的確に対応するため、センターと連合会で構成する事業開発委員会で協議を重ね、制度の周知や規程の整備を図りました。

また、安全適正就業を推進するため、安全就業推進委員会の見直しや安全適正就業研修会等を実施しました。

(1) 事業開発委員会

開催日	開催場所	内 容	出席者
11月22日	連合会 会議室	【議事】 ① 派遣労働会員の年次有給休暇取得義務化に伴う規程の整備について 【協議】 ① 年次有給休暇分給与財源の確保について 【報告】 ① 派遣労働会員の年次有給休暇取得義務化に関する周知について	8名
12月12日	連合会 会議室	【議事】 ① 同一労働同一賃金への対応について 【報告】 ① 派遣労働会員の年次有給休暇取得状況等について	8名

(2) 安全就業推進委員会

開催日	開催場所	内 容	出席者
令和2年 3月2日	連合会 会議室	【議事】 ① 事故発生状況について ② 安全パトロールの実施報告及び令和2年度以降の実施計画について ③ 令和2年度の安全適正就業研修会について ④ 運転業務に従事する派遣会員の安全運転対策について ⑤ 令和2年度安全標語募集要綱について ⑥ 安全就業推進委員会の見直しについて ⑦ 令和2年度の安全衛生管理体制について	7名

9 センター設置促進事業

センター未設置の都農町においては、当面、センター設置を見送ることとしましたので、今後は、都農町から設置に向けた相談等があれば、必要な支援をしていくこととします。

また、連合会未加入の5センターに対する加入の働きかけは、行うことができなかった。

10 交流研修事業

センターを取り巻く環境がますます厳しくなっていくことが予想されることから、センターの役職員等を対象に、業務知識の習得・向上等を図るため、会議・研修会等を開催しました。

(1) 役職員研修会

開催日	開催場所	内 容	出席者
10月17日 理事・監事 研修会	宮崎公立 大学交流 センター 多目的ホ ール	【講義】 ① ハラスメント防止について 宮崎県総合政策部人権同和対策課 人権啓発専門員 日高 義郎 氏 【報告】 ① 会員拡大に向けた取組について ② 空き家管理業務について ③ 傷害事故発生状況について	89名

(2) 事務局長会議等

開催日	開催場所	内 容	出席者
6月25日 理事長・事 務局長合 同会議	宮崎公立 大学交流 センター 多目的ホ ール	【講演】 ① 宮崎における雇用対策と働き方改革関連法 について 宮崎労働局職業安定部 部 長 大原 竜太 氏 ② 労働者派遣と請負・業務委託の区分について 宮崎労働局職業安定部職業安定課 需給調整事業室 室長 押川 博之 氏 【報告】 ① 都道府県連合事務局長会議について	33名
10月 2日 第 2 回事 務局長会 議	宮崎県庁 7号館 743号室	【議題】 ① 第2回都道府県S C連合事務局長会議の報 告について ② 会員拡大に向けた取組について ③ 連合会の第五次中期計画の策定について ④ 安全就業対策について 【意見交換】 ① 会員数の目標設定について ② 市・町管内の高齢化率との関係について 等	17名

1月24日 第3回事務局長会議	宮崎市中 央公民館 中研修室	【議題】 ① 第3回都道府県SC連合事務局長会議の報告について ② 会員数の状況について ③ 連合会の第五次中期計画の策定について ④ 高齢者活躍人材確保育成事業について 【情報交換】 ① 事務局職員の働き方改革への対応状況について	15名
--------------------	--------------------------	--	-----

(3) 担当国会議・研修会

開催日	開催場所	内 容	出席者
8月23日 派遣事業担当者会議	宮崎公立 大学交流 センター 会議室	【議題】 ① 働き方改革に伴う労働基準法の改正について ② 年次有給休暇の取得について 【意見交換】 ① 年5日の取得にあたっての課題や問題点について	18名
9月24日 会計実務担当者会議	宮崎公立 大学交流 センター 会議室	【議題】 ① 消費税について 衣目公認会計士・税理士事務所 公益法人統括 氏原 謙一 氏	24名
9月27日 ホームページ担当者会議	宮崎県工 業技術セ ンター会 議室	【議題】 ① ホームページの編集操作方法について ② 業務効率化ツール（グループウェア）の操作方法について	21名
10月2日 派遣労働会員の年次有給休暇取得に係る検討会議	宮崎県庁 7号館会 議室	【意見交換】 ① 派遣労働会員の年次有給休暇について	26名

11月12日 会計担当 初任者研 修会	宮崎公立 大学交流 センター 会議室	【講義】 ① 適正な会計を目指して 飯田三和税理士事務所 所長 飯田 三和 氏	24名
12月 2日 同一労働同 一賃金に関 する研修会	宮崎公立 大学交流 センター 会議室	【講義】 ① 平成30年労働者派遣法改正の概要（同一労働同一賃金） 宮崎労働局職業安定部 職業安定課需給調整事業室 需給調整指導官 井之上 亮太 氏 需給調整事業専門相談員 富 樫 仁 氏	26名
1月24日 派遣労働者 の同一労働 同一賃金へ の対応に関 する検討会	宮崎市中 央公民館 中研修室	【議題】 ① 労働者派遣法改正のポイントについて ② 派遣先からの待遇情報の入手について ③ 関係規程の整備について	35名
3月17日 SC会計担 当者への国 庫補助金事 務説明会	宮崎市シ ルバー人 材センタ ー会議室	【議題】 ① 国庫補助金の精算報告及び申請事務等について 宮崎労働局職業安定部職業対策課 高齢者対策担当官 平田 康広 氏	18名

11 関係団体との連携

行政機関や関係する諸団体との連携を図りながら、連合会と各センターの円滑な事業運営の推進に努めました。

(1) みやざきシニア活躍推進協議会との連携

厚生労働省委託「生涯現役促進地域連携事業」を行うため、宮崎県、県内経済団体、労働団体など、関係団体で組織する「みやざきシニア活躍推進協議会」が設立され、当連合会が事務局を担当しています。

同協議会は平成29年8月から事業を開始し、生涯現役ひなたサロン（就業相談窓口）の開設や高年齢者就職面談会などを行っており、センターの会員増加を図るとともに、就業拡大にもつなげています。

(2) 経済団体等情報交換会議

(公財) 産業雇用安定センター宮崎事務所主催
令和元年9月30日 宮崎観光ホテル

【議題】

- ① 本県における雇用情勢等について
- ② 産業雇用安定センターの概況について

(3) 全シ協との連携

- ① 全シ協定時総会
令和元年6月20日 東京都
- ② 都道府県シルバー連合会長会議
令和元年11月8日 東京都
- ③ 都道府県シルバー連合事務局長会議
第1回 令和元年5月30～31日 東京都
第2回 令和元年9月19日 東京都
第3回 令和2年1月16日 東京都

(4) 九シ協との連携

- ① 九シ協理事会
令和元年6月7日 福岡市
- ② 九シ協定期総会・臨時理事会及び役職員研修会
令和元年7月4～5日 長崎市
- ③ 九州各県シルバー連合事務局長会議
令和元年11月14日 福岡市
- ④ 九シ協職員研修会
令和元年11月21～22日 鹿児島市
- ⑤ 九州各県シルバー連合会長会議
令和元年11月28日 福岡市
- ⑥ 九シ協中堅職員研修会・九州各県連合職員会議
令和2年2月26～27日 福岡市

12 中期計画の見直し・策定

前計画である「第四次中期計画」の結果の検証・分析を行い、令和2年度を初年度とする5年間のシルバー事業を推進するための指針となる「第五次中期計画」を策定しました。

【第五次中期計画策定委員会の開催状況】

開催日	開催場所	内 容	出席者
10月23日 第1回	連合会会 議室	【議事】 ① 第五次中期計画の策定方針について ② 第五次中期計画策定調査票について ③ 今後のスケジュールについて	8名
12月16日 第2回	連合会会 議室	【議事】 ① 第五次中期計画策定調査票（1）について ② 第五次中期計画策定調査票（2）について ③ 会員数・契約金額・就業率の目標値について ④ 今後のスケジュールについて	8名
2月26日 第3回	連合会会 議室	【議事】 ① 第五次中期計画（素案）について ② 会員数・契約金額・就業率の目標値について ③ 今後のスケジュールについて	10名

13 運営組織に関する事項

(1) 定時総会

- ① 開催年月日 令和元年6月18日(火)
- ② 開催場所 宮崎公立大学交流センター
- ③ 出席会員 20団体
- ④ 会議内容 原案どおり可決決定
 - 議案第1号 平成30年度事業報告について
 - 議案第2号 平成30年度決算について
 - 議案第3号 定款の一部変更について
 - 議案第4号 役員を選任について
 - 報告第1号 平成30年度収支補正予算について
 - 報告第2号 令和元年度事業計画について
 - 報告第3号 令和元年度収支予算について
 - 報告第4号 平成30年度シルバー人材センター事業統計について

(2) 理事会

開催日	開催場所	内 容	出席理事
6月3日 第1回 理事会	連合会 会議室	【議事】 ① 平成30年度事業報告について ② 平成30年度決算について ③ 役員を選任について ④ 令和元年度定時総会の運営について 【報告】 ① 平成30年度収支補正予算について ② 平成30年度シルバー人材センター事業統計について	7名
6月18日 第2回 理事会	宮崎公立 大学交流 センター	【議事】 ① 副会長及び常務理事の選定について	7名
7月31日 第3回 理事会	連合会 会議室	【議事】 ① 第五次中期計画の策定について ② シルバー人材センター事業運営に関する要望について	7名
10月28日 第4回 理事会	連合会 会議室	【議事】 ① 令和元年度収支補正予算について ② 安全衛生委員会の設置について 【報告】 ① 会長、副会長及び常務理事の職務執行状況報告について	7名
12月25日 第5回 理事会	連合会 会議室	【議事】 ① 派遣労働会員就業規則の一部変更について ② シルバー派遣事業における年次有給休暇の事務取扱要領の一部変更について	7名
令和2年 2月19日 第6回 理事会	連合会 会議室	【議事】 ① 派遣労働会員就業規則の一部変更について ② シルバー派遣事業実施規程の一部変更について ③ 連合会職員給与規程の一部変更について ④ 連合会職員就業規則の一部変更について ⑤ 連合会嘱託職員に関する要綱の一部変更について ⑥ 連合会臨時職員に関する要綱の一部変更について	7名

		⑦ 連合会会計処理規程の一部変更について ⑧ 連合会旅費支給規程の一部変更について ⑨ 令和2年度理事・監事候補者選考委員会委員の選任について	
3月24日 第7回 理事会	連合会 会議室	【議事】 ① 宮崎県シルバー人材センター連合会第五次中期計画について ② 安全就業推進委員会規程の名称及び規定の一部変更について ③ 会費規程の一部変更について ④ 旅費支給規程の一部変更について ⑤ 令和2年度定時総会の開催日及び場所について ⑥ 令和元年度収支補正予算について ⑦ 令和2年度事業計画について ⑧ 令和2年度収支予算について 【報告】 ① 会長、副会長及び常務理事の職務執行状況報告について	7名

(3) 監事監査

- ① 監査日 令和元年5月23日（木）
- ② 場 所 連合会会議室

14 センターの事故発生状況

令和元年度にセンターで発生した事故件数（注）は、前年度に比べて3件増加し、76件となっています。就業中・就業途上別にみると、就業中の事故が72件、就業途上の事故が4件となっています。

また、事故の型別に見ると、「転倒」が19件、「蜂等に刺され」が16件、「切れ・こすれ」が11件、「墜落・転落」が7件、その他が23件でした。

注：ここでいう事故件数は連合会独自調査データであり、シルバー保険適用の有無にかかわらず、通院・入院・死亡した事故発生件数です。